

梅田市長に要望書を手渡す会の代表の船橋氏



11月4日、「ごみ問題を考える久喜市民の会」は、市庁舎において「プラスチックの分別をやめて全量焼却する計画の撤回を求める要望書」を梅田市長に提出しました。また提出後には、要望書について市側に趣旨説明を行い、市の担当からは、現状と、今後の計画などについての説明があり、懇談をしました。

9月30日 【全員協議会報告】

学校給食センター建設の進捗と新たな計画

久喜市の小中学校すべての学校給食をまかなう給食センター建設の経過について報告がありました。完成予定は令和3年7月予定ですが、新型コロナウイルス感染対策や厨房機器の仕上がり調整などから、約2ヶ月程度遅れている。また、給食センターの雨水対策として給食センターの敷地を拡張し「地下埋設式の調整池」を設置することを明らかにしました。このことにより、理科大跡地全体の活用がどのようになってもセンターの雨水対策の心配はなくなるとの説明です。工事は令和3年7月完成に向け引き続き進めていくとしています。

「調理や配送業務の進捗について」

公募の結果3社から応募があり、(株)東洋食品に決定。

契約期間は、準備期間として令和2年8月5日～令和3年7月31日まで、履行期間として令和3年8月1日～令和7年7月31日までの4年間。契約金額は約19億円。人員体制は174人。食物アレルギー対応、地産地消、手作り料理、調理員の継続勤務、配送計画等についても説明があり、配送計画は、16台の車両で、食器と給食、食缶を別々に2段階配送。可能な限り暖かい給食を提供できるようにしたい。食物アレルギーの対応は、アレルギー対応申請の児童一人一人の状況を把握し、令和3年8月の新学校給食センター稼働に合わせ除去食の提供を開始していくとのこと。

11月11日には
陳情書を議会に提出

◆4日に続き、11日には要望書と同じ内容で市議会に対し、陳情書の提出を行いました。陳情書には、9団体と4名の個人が名を連ねました。
◆陳情書は、12月14日の教育環境常任委員会に付託され、陳情者は出席をし、意見を述べるができます。
また、各委員は陳情に対し、「意見」を言うことができます。



プラゴミ議案の審議を
傍聴できます！

◆8日は「議案質疑」の予定です。教育環境委員（共産党は渡辺議員）以外の議員が質疑します。傍聴もできます。
◆14日の委員会には、陳情団体、個人の多くのみなさんが傍聴に来てくださるようお願いします。（14日は9時開会）

議会の日程は

11月24日	火曜日	議案の上程 議員提出議案先議
11月30日	月曜日	一般質問 平間議員 1番目
12月1日	火曜日	一般質問 石田議員 2番目
3日	木曜日	一般質問 渡辺議員 2番目 一般質問 杉野議員 7番目
4日	金曜日	一般質問 最終日
8日	火曜日	議案質疑
9日	水曜日	総務財政市民常任委員会-分科会
10日	木曜日	福祉健康常任委員会・分科会
11日	金曜日	建設上下水道常任委員会・分科会
14日	月曜日	教育環境常任委員会・分科会
18日	金曜日	最終日 討論・採決

「プラスチックの全量焼却は、やめて！」市民が市長に要望！

渡辺まさよ

久喜市所久喜705-3



- 1 久喜市のごみ行政におけるSDGsの取り組みと
プラごみを焼却する事による環境問題について
- ①SDGsの目標に具体的にどのように取り組むのか
- ②国が進める「プラスチック資源循環戦略」の計画はすぐ2年後のことである。法の見直しがされる予定である。この動きに迅速・適切に対応すべき。
- ③環境負荷が大きくなるプラごみ焼却をなぜ進めようとするのか。
- ④世界の環境問題の取り組みに沿った焼却炉となる選択をすべき。
- 2 久喜駅西口周辺まちづくり検討事業の今後の計画について
- ①検討事業の現地調査・実態調査は。アンケートの内容の公表を望むが。
- ②素案ができたなら説明会を開くと聞く。市の意向は反映されたものか。市民の要求は取り入れられるか。
- ③開発の主体は久喜市か何う。噂はどう考えるか。
- 3 新学校給食センターの
食物アレルギー対応品目は増やす計画を早めよ
- ①委託事業者の実績と人員の対応は
- ②食物アレルギーの児童生徒数は。卵と乳の除去食だけ1年進めて徐々に品目を増やす計画だが何人が食べられるようになり、何人が食べられないままか。
- ③特定原材料7品目とした除去食から代替え食へと保護者は願っている。早急な改善を求める。
- 4 久喜市の地域猫活動・TNR活動に対して独自補助をすべき。「ペット同行避難」についてボランティア団体と共同開催が出来ないか。

杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1-504



- 1 コスモスふれあいロードと県道12号線の交差点に、手押し信号を設置するよう求める。近隣住民、保護者からの要望です。
- 2 第8期の介護保険事業計画は、制度の改善と充実を求める
介護事業者や、サービスの利用者、家族はコロナ禍のもとでリスクを負いながら頑張っているが、様々な困難に直面している。
(1) それぞれの困難をどうとらえているか。
(2) 独居要介護者、老少介護（10代の青少年が介護をしている）、老老介護、の実態を問う。
(3) この20年介護従事者への処遇改善は進んだか。
- 3 公共施設アセットマネジメントの進め方を問う
久喜市は、これからの人口減や財政難を前提として、今使っている公共施設を削減・廃止して行こうという計画を進めている。市民の暮らしや、コミュニティ、文化などを守り育てているのが公共施設である。古いから、維持・改修に費用がかかるからと切り捨てて良いのか。サービスを向上させるという視点がない。
- 4 新型コロナ、冬本番の感染拡大に備え、対策の強化を
全国、全県、本市でも「第3波」が到来している。
(1) 各種給付金、支援金は必要な市民に届いたのか、現時点での状況を問う。3月以来、陽性者が増えてきているが、特徴は。
(2) (3) 感染の原因、経路、情報提供を問う。

11月議会です！全員で一般質問します！

平間ますみ

久喜市本町8-4-1



- 1 幼児・児童・生徒にインフルエンザ予防接種補助金を
コロナ禍の中で、埼玉県が65歳以上の高齢者・60歳以上の疾患がある方のインフルエンザ接種料金を負担します。一方、幼児、児童生徒に対する県の公的援助はありません。幼児、児童、生徒が感染した場合は園の閉鎖、学校閉鎖など影響は大です。市独自の支援策として、インフルエンザ予防接種に対する補助を行い、コロナ禍の中で経済的にも厳しい状況が続いているといわれる保護者の負担軽減を行うべきと考えます。
- 2 公共交通の運賃値上げは止めるべき
市内循環バス、デマンドタクシーの値上げが11月5日の久喜市地域公共交通会議で検討され、決定されました。事業者との共存を値上げで解決するというありかたは、自治体として最悪の施策だと考え、中止を求めます。
- 3 住宅リフォーム助成制度の創設を
住宅リフォーム助成制度が、地域に及ぼす経済効果は大きく、国も制度を推進していますが、市は前向きな姿勢を見せていません。改めて助成制度創設を求めます。
- 4 久喜市公契約条例の制定を
市発注の公共事業、公契約において引き上げられてきた設計労務単価が、下請け孫請けの末端の労働者まで波及していないと指摘されています。市は最低賃金を元請けに守らせる責任があります。可能となる公契約条例の制定を求めます。

石田としはる

久喜市栗橋東5-7-2



- 1 済生会栗橋病院との定期協議 進展を求めて
現在地の病棟活用、市は「済生会栗橋病院が調整中」と静観するのみで何の支援策も示しません。定期協議で具体的支援策を示すことが「協議」ということです。進展を求め質問します。
- 2 大規模水害による犠牲者を一人も出さないための取り組み
市は、「避難判断決断ブック」を作成中です。災害時の指針となる重要なハンドブックとなります。広域避難対象エリアの方への適切な避難情報発令掲載などを求め質問します。
- 3 農家を元気に、ソーラーシェアリング発電を推奨すべき
農業生産者の多くが、農業だけでは生活できないとの声が聞かれる中、半農・半電力、営農型太陽光発電施設「ソーラーシェアリング」が注目されています。メリットを提起し、市と農家が連携して実証実験に取り組むよう提案をします。
- 4 農業者への持続化給付金が給付できるよう支援すべき
新型コロナの経済対策、持続化給付金事業は農業者の方も対象者です。農家の皆さんへの周知を進め、農家が元気になり、持続化につながるよう、市の積極的取り組みを求め質問します。
- 5 栗橋地区の商店街を明るくすることを求めます
店舗が廃業しても照明灯は残し、点灯しているところもありますが約半数に減少。夜になると歩道を歩くのも危ない状況です。商店街の町並みを明るくするよう改善を求め質問します。